

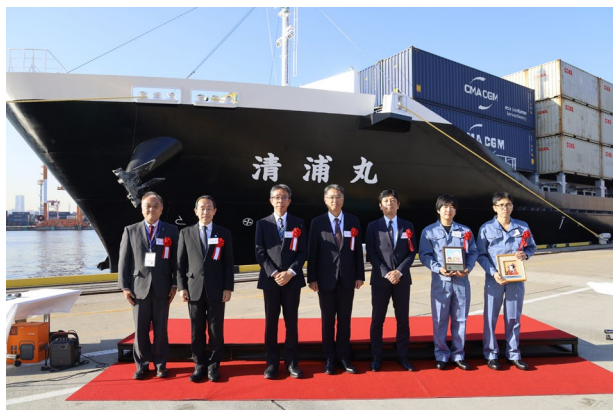
横浜港本牧ふ頭に、鈴与海運株の
400TEU 型の内航コンテナ船が初入港しました！

横浜港は国際コンテナ戦略港湾として基幹航路の維持・拡大に向けて、東日本を中心に各港と連携を進め、内航船による国内港湾からの集荷に積極的に取り組んでいます。その効果もあり、令和4年の内貿におけるコンテナ取扱個数は過去最高の35万TEU(注)となりました。

この度、鈴与海運株式会社（本社：静岡市）が令和5年10月に竣工した内航コンテナ船「清浦丸」（全長約111.62m、最大積載数402TEU）が、11月2日に横浜港本牧D4コンテナターミナルに初めて入港し、歓迎式典を開催しました。

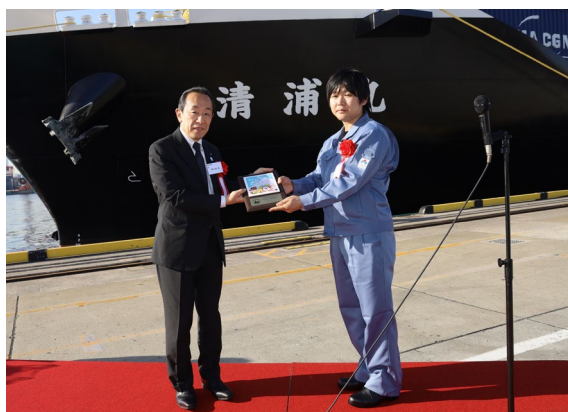
同船は、鈴与海運株式会社が運航する内航コンテナ船において最大となり、横浜港と神戸港を結ぶ航路に就航する予定です。今回の就航は、内航コンテナ輸送の強化と横浜港の基幹航路へのサービスを向上させるものとして期待しています。

(注) TEU：20フィートで換算したコンテナ個数



【清浦丸】

右から、森機関長、佐藤船長、CMA CGM JAPAN（株）内田代表取締役社長、
鈴与海運（株）鈴木代表取締役社長、関東地方整備局 衛藤副局長、
横浜市 中野港湾局長、横浜川崎国際港湾（株）植松副社長



中野港湾局長から、鈴与海運（株）佐藤船長へ記念楯を贈呈



本牧ふ頭D4ターミナルに着岸した清浦丸

(参考1) 本船詳細

本 船 名 : 清浦丸
総 ト ン 数 : 2,500 トン
最大コンテナ積載数 : 402TEU
全 長 : 111.62m
竣 工 年 月 日 : 令和5年10月31日 (小池造船海運株)

(参考2) 「清浦丸」寄港地
神戸、名古屋、横浜、清水

お問合せ先	
港湾局物流運営課長	鹿志村 兼貴 Tel 045-671-2873